

朝日新聞 2009(平成21)年8月11日(火) 佐賀版 ぶらりミュージアム

# ぶらり ミュージアム

県立博物館・美術館

唐津藩水野家の家臣木崎  
攸軒盛標は、1773（安永  
2）年から1786（天明6）  
年にかけて、領内の石炭・  
焼き物・紙漉・捕鯨など21  
の生業を絵と詞書で8巻の  
図説にまとめた。

描き始めの「鯨一件の  
巻」では表題の頭に「小児  
乃弄」とあり、「紙漉大概」  
の末尾には「我が家の小童  
児女に与へて翫とするの外  
全く余儀なし」とある。こ  
の図説を子ども向けの「絵  
本」として描いたと攸軒自

## 唐津藩の産業振興に大きな影響

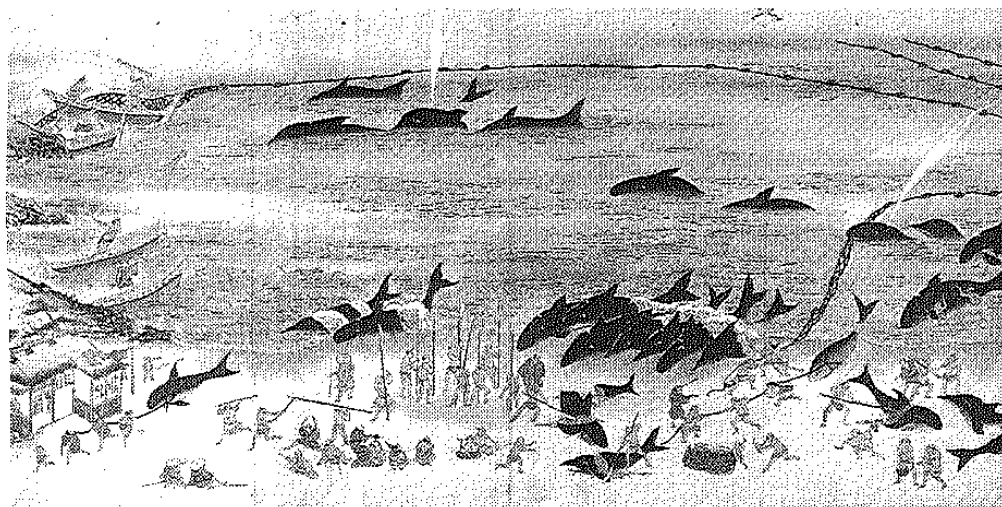
ひぜんこくさんぶつずこう  
肥前国産物図考第6帖「江猪漁事」  
いるかりよりのこと

身が述べているが、その描  
写と背景・技術などの記述  
は詳細で、多くの写本が存  
在していることから、唐  
津藩の産業振興に大きな影  
響を与えたことは想像に難  
くない。

原本は、8巻のうち現在  
4巻が所在不明だが、佐賀  
県立博物館が所蔵する写本  
（富山本）は8巻すべてが  
そろっており、佐賀県重要  
文化財に指定されている。

（県立博物館・美術館）  
学芸員 浦川和也

メモ 佐賀市城内1  
の15の23。電話0952  
・24・3947。バス停「博  
物館前」下車、徒歩1  
分。開館は午前9時  
半～午後6時。月曜  
（祝日なら翌日）休館  
（31日は除く）。31日ま  
で県立美術館で公開  
中。



ひぜんこくさんぶつずこう  
肥前国産物図考第6帖「江猪漁事」／木崎攸軒盛標・原著／江戸時  
代中後期写／折本8帖／各横26.7㍍、縦13.7㍍／佐賀県重要文化財